

土曜講座 完結

1995年から通算21年をかけて土曜講座がめざしたのは、受講者それぞれが「自分の見解を持つ」ことである。その根底に流れているのは、市民が主体となって社会を管理する「市民自治」であり、それを提唱した松下理論（＝自治体理論）であった。

土曜講座の集大成となる最終回は、参加者自らが未来を切り拓く術を得られるよう「松下理論の今日的意義」を再考・再確認する場にしたい。松下理論（自治体理論）を習得し実践することで、中央従属の惰性思考から脱却していこう。

ついに幕を閉じる土曜講座、ぜひ多くの方々に参加していただきたい。

この最終講座を、自治体理論を提起され続けた松下圭一先生に捧げる。

北海道自治体学土曜講座・最終回

松下圭一先生追悼『松下理論の今日的意義』

1. 講義

「松下圭一 日本を変える」 大塚信一（元・岩波書店社長）

「シビルミニマム論と市民参加・職員参加論」

西尾 勝（東京大学名誉教授）

「松下理論の骨格」

森 啓（自治体政策研究所）

2. 鼎談論議

「松下理論の今日的意義」 大塚信一、西尾勝、森啓（司会）

■日時 **10月13日（土） 13:00～17:30**

■会場 **北海学園大学
教育会館1階AV4番教室**

札幌市豊平区旭町4丁目1-40

※ 駐車場は利用できません

地下鉄東豊線「学園前駅」下車 3番出口直結

■参加費 **無料／申込不要**

■問い合わせ先

北海道自治体学土曜講座実行委員会

（共同代表：森啓、内田和浩、宮下裕美子）

メール ukazuhir@econ.hokkai-s-u.ac.jp

電話 011-841-1161 内線2737

（北海学園大学経済学部内田和浩）

携帯 090-5071-1274（森啓）

■主催：北海道自治体学土曜講座実行委員会

共催：自治体政策研究所／後援：北海道自治体学会